

ぼくはこの合宿に参加して一番心に残ったのは、緒方先生の（四つの美しのお話です。先生は、
「（体の美し姿勢）（心の美し礼ぎ作法）（けい古の美し心く剣道をしない）（有終の美し残心）を大切にしていほし。

とおっしゃられました。
ぼくは、この中でも「けい古の美し」が一番大切だと思います。ぼくの道場でも、試合に勝つために首に竹刀をかけた相手を押さえつ

けたり、まっすぐに構えずに守りながら手首を回して打っていつたりすることは、きびしく注意をされます。長く剣道を続けていける正しい打ち方が大切と教えられていることを思い出しました。なので、この合宿で「けい古の美し、いや、四つの美を身につけて、自分の道場に帰ろうと思いましたが、他にも、有終の美を注意されます。一本決めたのはいいけれど残心が悪い」といわれます。なので有終の美をしつかり身につけて帰りたいと思

ました。
けい古では基本がウチおいに教えていた
だきました。道場でも注意されていた低くな
ってしまいう構えや左ひじが上がる面打ちもこ
れまで以上に気をつけたことで、少しはなお
ってきたと思います。

何よりも全国でも有名で、ぼくでも知って
いる強い剣士の連続技やすじの技を近くでみ
ることが出来たことはとてもうれしかったで
す。

「ぼくもやってみたい！」と、地げい古や
中学生相手のけい古では、できるだけマネを
して、見た技を使ってみるようにしました。
また、緒方先生のおっしゃっておられた「先
手必勝」を忘れることなく、自分からとんと
ん攻めるようにしました。

最後の試合では、もう少ししっかり強
打ちをしていけば、一本になっただはずでした
が、一本勝ちでした。ぼくがもう一本取って
いたら、4は負けなかつたので、一本の重

さをとても感じ落ち込みました。それでも他の強い人の試合を「ぼくがこの状況ならこうする」と考えながらみるようにしました。

最後に先生方や滋賀県のみなさんにすいせ
んしてもらってこのようにすごい人たちと
知り合いになれて、剣道も教えてもらえる合
宿に行かせてもらえて、本当にありがとうご
ざいました。東京の事務局の先生、講師の先
生にも感謝しています。仕事を休んで東京ま
で送りおかえをしてくれたお母さんたちにも
とても感謝しています。

本当にありがとうございました。

滋賀県

膳所剣友会

藤本 得成